

《リングテニス》

・バドミントンコートぐらいの広さのコートで、ゴムで作られた輪を、ネットをはさんで投げ合うゲームです。

写真



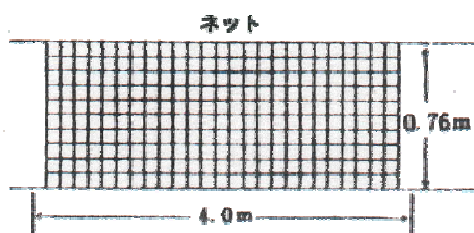
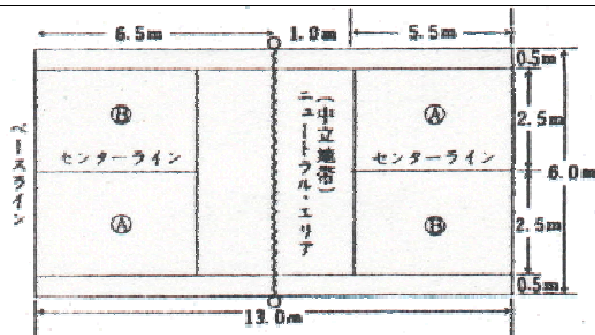
起源

・1914年頃、クリーブ・シェーファー氏によって陸上のスポーツとして考案された「デッキテニス」が起源。
・1966年、日本レクリエーション協会の清水良隆が日本式「リングテニス」として考案した。

人数

・1対1(シングルス)、2対2(ダブルス)

場所



・広さは区画線を含んで幅 5.49m、長さ 12.2m
* バドミントンコートをそのまま使用してよい。

進め方

・第1ゲームの試合前に、コイントス又はジャンケンをし、勝者はコートあるいはサーブを選択する。
・サーバーは、相手コートへネットを越えるようにリングを投げ入れる。
・レシーバーは、リングが床に着く前にキャッチし、投げ返す。
・サーブは1ゲームが終了するまで同じ人が左右交互に行い 1 ゲーム終了毎にサーブ権を交代する。
・サーブは、バックライン後方からアンダースローで相手側のレシーブコート(対角線側)に投げ入れる。
・サーブは1回のみであるが、ネットインの場合は、もう一度やり直す。
・リングは常に片手で受け、持ち替えないでその場からアンダースローで投げ返す。
・中立地帯に投げ入れた場合は、アウトとなる。

勝敗の決め方

・プレイヤーが自分のコート内にリングを落とした場合、投げたリングが相手コート外に出てしまった場合、サーブのミス、反則の場合は、相手側の得点となる。
・ゲームの構成、ポイントの数え方などは、硬式テニスに準ずる。

| | | | | | |
|----------|--------|----|----|----|--------|
| 通常のポイント | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| テニスのポイント | 0 (ラブ) | 15 | 30 | 40 | G(ゲーム) |

* 4点先取で1ゲームを取る。3対3はデュースで、2点連続取った方がそのゲームを取る。

* 2ゲーム差をつけて6ゲームを取ると、1セットを取ることができる。(7 - 5の場合は、7ゲームを取った方がそのセットを取るが、6 - 6になった場合は、タイブレークシステムを採用するか、そのまま続けるかを事前に決めておく。)

* 最終的に2セット先取した方が勝ちとなる。

その他

* 次の行為は反則となり、相手チームに得点が与えられる。
・リングを両手でつかむ。 ・中立地帯に踏み込む。 ・体にリングが触れる。 ・リングを落とす。
・コート外に投げる。 ・打ち返す。 ・リングを持って2歩以上歩く。 ・持ち替えて投げる。
・肩より肘を高く上げて投げる。